

INFORMATION



第48回日本平滑筋学会総会サテライトシンポジウム

Involvement of interstitial cells of Cajal in the control of smooth muscle excitability

President : Tadao TOMITA

Chairmen : G.D.S. HIRST and H. SUZUKI

Date : July 22, 2006 (Saturday)

Place : Okayama Convention Center (Okayama City, Japan)

Language : English

Admittance : Free for everybody

Speakers :

HASHITANI, H. (Nagoya City University, Nagoya, Japan)

HIRST, G.D.S. (Australian National University, Canberra, Australia)

KOMURO, T. (Waseda University, Tokorozawa, Japan)

LANG, R.J. (Monash University, Melbourne, Australia)

McHALE, N.G. (Dundalk Institute of Technology, Eire)

SANDERS, K.M. (University of Nevada, Reno, USA)

SERGEANT, G.P. (Dundalk Institute of Technology, Eire)

SUZUKI, H. (Nagoya City University, Nagoya, Japan)

WARD, S.M. (University of Nevada, Reno, USA)

平滑筋でみられる自動運動は筋原性活動であろうと推定されていましたが、その発生機序は永らく不明でした。最近、消化管平滑筋の自動運動は筋間神経層に分布する間質細胞（カハールの間質細胞 Interstitial Cells of Cajal）がその発生起源であることが発見され、消化管平滑筋の自発活動発生機序に関する研究が新たに注目されています。カハールの間質細胞に類似した細胞は消化管以外の平滑筋組織でも発見され、この細胞の生理機能、平滑筋運動との関連、さらに平滑筋の自動能のペースメーカー機構に関する研究が新展開を見せております。

本シンポジウムは最近のこうした研究の進展を踏まえ、いくつかの平滑筋組織で進められているカハールの間質細胞に関する最新の基礎的研究について討議する目的で計画されました。シンポジウムは英語で行われ、消化管や泌尿生殖器平滑筋における研究に関する話題提供を予定しております。

本シンポジウムは英国生理学会によって支援されており、参加無料です。

皆様のご参加を歓迎いたします。

問合先：名古屋市立大学医学部生理学教室

鈴木 光

電話 052-853-8129 FAX 052-842-1538

hisuzuki@med.nagoya-cu.ac.jp

日本平滑筋学会編集事務部 ([http://](http://www.soc.nii.ac.jp/jsmr/index.html)

www.soc.nii.ac.jp/jsmr/index.html)

Sponsored by The Physiological Society (<http://www.jphysiol.org>)



札幌医科大学生理学第二講座担当教授候補者の推薦について

この度医学部におきましては、生理学第二講座・大学院医学研究科（脳神経機能学）の青木 藩教授が平成18年3月31日付けをもちまして定年退職となることから、後任教授を選考することとなり、また、当該教授候補者の募集にあたりましては、ホームページ等により広く公募することと致しました。

つきましては、当該教授候補者として適任者（自薦・他薦は問いません。）がおられましたら、次の提出資料を下記提出先まで送付願います。

なお、本学の生理学は2講座あり、一方の生理学第一講座担当の當瀬規嗣教授の専門は循環生理学、電気生理学であることを申し添えます。

記

1 提出資料

- | | |
|-------------|-------------|
| (1) 履歴書 | 1部（別紙様式1） |
| (2) 学会等活動実績 | 1部（別紙様式2） |
| (3) 教育実績 | 1部（別紙様式3） |
| (4) 研究実績 | 1部（別紙様式4） |
| (5) 業績目録 | 1部（別紙記載例参照） |
| (6) 論文別刷 | 正本1部、コピー7部 |

（上記については、主たる10編をもって1部とし、提出論文の右肩には、業績目録番号を記載してください。なお、正本1部のみ選考終了後返却します。）

(7) これまでの教育、FDへの関わり、研究（主研究及び副研究について記載）及びその他の活動についての概要と今後の抱負（2,000字程度）

1部（様式任意）

※各別紙様式につきましては、本学ホームページ（<http://web.sapmed.ac.jp/>）からダウンロードできます。

また、電子メールで請求いただければ、様式をお送りいたします。

2 提出期限

平成18年4月6日（木）（必着）なお、上記提出書類は、全てまとめて送付してください。

3 提出先及び連絡先

札幌医科大学事務局総務課人事係 担当 浦濱
〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL 011-611-2111（内線2116）
e-mail : urahama@sapmed.ac.jp

4 その他

(1) 医学部医学科及び大学院医学研究科の教育・研究を担当していただきます。

(2) 選考の過程で、①追加資料を提出していただく場合があること。②御来学いただき、講演・面談等を行っていただく場合があることを申し添えます。

(3) 提出していただいた資料は、返却いたしません。

(4) 本学は、平成19年4月から独立行政法人化する予定です。

(5) 本学の組織の構成等につきましては、大学ホームページにて公開しております。

ホームページアドレス <http://web.sapmed.ac.jp/>



第16回生理活性ペプチド国際シンポジウム

The 16th International Symposium on Regulatory Peptides (REGPEP '06)

<http://www.bilingualgroup.co.jp/regpep2006/>

2006年8月30日(水)～9月2日(土)

品川：ホテルパシフィック東京(8月30日)

箱根：箱根プリンスホテル(8月31日～9月2日)

登録料

2006年2月1日(水)登録開始

2006年6月30日まで 2006年7月1日以降

一般 ¥50,000 ¥60,000

若手研究者(35歳以下)

¥40,000 ¥50,000

学生 ¥20,000 ¥30,000

演題投稿(オンライン)

2006年5月10日(水)午前9時 〆切

トピック

(1) Secretion

(2) Motility

(3) Signal Transduction

(4) Gastrointestinal Sensing (Nociception,
Luminal sensing)

(5) Brain-Gut Axis

(6) Appetite, Obesity and Metabolic Control

(7) Immune-Regulation

(8) Development, Growth & Differentiation

(9) Clinical Application

(10) Novel Methodology

(11) Others

REGPEP '06 事務局

(株)バイリンガル・グループ内

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-3-6

TEL: 03-3263-1261 FAX: 03-3263-1264

Email: regpep2006@bilingualgroup.co.jp